学校番号	416

令和８年度　家庭科

教科	専門教科 家庭	科目	保育基礎	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書	保育基礎　ようこそ、ともに育ち合う保育の世界へ　（教育図書）						
副教材等	保育基礎　ようこそ、ともに育ち合う保育の世界へ準拠ワークノート（教育図書）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・教科書とプリントを用い、講義形式を中心に授業を行います。
・「課題を見出す→結果を予想する→解決方法を考え、構想する→解決する→解決の過程を振り返ってよりよい解決を考える」といった一連の過程で、自分の考えを発表したり、議論したりする活動を行います。
・乳幼児の簡単な被服製作や離食・幼児食などの調理実習など、製作活動や実習を行います。衛生面の注意や手先の細かい作業や創意工夫が必要となります。最後まであきらめずに取り組みましょう。
・子どもの発達の特性や発達過程を理解し、将来、子どもに関わる仕事に携わる者だけでなく、親となるための知識や技術について意欲的・積極的に取り組みましょう。
・板書をプリントに書き写すだけでは評価の対象になりません。授業のポイントや自身で気付いたことがあればプリントの端や裏に記入しましょう。

2　学習の到達目標

【知識及び技術】
自分の子ども時代を振り返り、また将来、子どもに関わる仕事に携わる者や親として、保育の意義や方法、子どもの発達や生活の特徴などについて理解し、関連する技術を身につける。また、子どもの福祉や文化などについて、子どもの発達を通して保育に関連付けながらその意義や特徴などについて理解する。

【思考力、判断力、表現力等】
子どもを取り巻く課題を見出し、その解決のために個人及びグループで考え、考察し、適切に判断する能力を身につける。さらに、子どもに関わる仕事に携わる者はもちろん、親として子どもの健やかな発達を促すために必要な保育について考え、より良い保育を創造し、課題を解決する力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】
子どもたちの健やかな発達のためには保育の充実が不可欠であることを認識し、豊かな人間性を養い、広い視野をもちながら学ぶ。さらに、保育に関心をもち保育に必要な知識と技術を活用するとともに他者と協働しながら主体的に学び続ける態度を養う。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技術	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	子どもの発達の特性や発達過程、保育などについて理解しているとともに、子どもの発達や特性に合った保育の技術を総合的に身に付けている。	子どもの発達や特性を理解し、それに合った保育をする中や子育て支援などについて、充実向上を図るための課題を見出し、その解決の為に思考・工夫し、適切に判断する能力を身に付け、課題を解決する力を身につけている。	子どもの発達の特性や発達過程、保育などについて興味・関心をもち、その充実向上をめざして主体的・協働的に取り組むとともに、子どもの発達や子育て支援に必要な実践的な態度を身につけている。
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。			

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1	子どもの保育	保育の意義 保育の環境 保育の方法	a:保育の意義を理解し、保育環境とのかかわりについて知識を深める。また、保育方法の基本的な知識と技術を身につけている。 b:保育の意義、保育環境との関係性等について課題を見出し、問題解決のために考え、判断する態度がみられる。 c: 保育の意義を理解し、保育方法の基本的な技術を身につけ、保育環境とのかかわり方について積極的・意欲的に取り組む態度が身についた。	プリント 小テスト 定期テスト	ワーク プリント 定期テスト	ワーク レポート 振り返りシート

	子どもの発達	子どもの発達の特性 乳幼児期の発育と発達	a:発達とは何かを理解し、乳幼児の大切さ、子どもとのかかわり方について理解する。また、乳幼児期の発育・発達の特性、生理的特徴等について関する知識を身につける。 b:胎児期、乳幼児期の発育・発達の特徴が人間関係の発達とどのように関係しているかについて理解し、子どもとのかかわり方について考え、判断する態度が身についている。 c:乳幼児の発達に興味・関心を持ち、発育・発達を促すために積極的・意欲的に取り組む態度が身についている。	プリント 小テスト 定期テスト	ワーク プリント 定期テスト	ワーク レポート 振り返りシート
2	子どもの生活	子どもの健康と生活 子どもの食事 離乳食・幼児食の調理実習 子どもの衣服と寝具 乳幼児の被服製作 子どもの健康と安全	a: 子どもの生活習慣・食事・衣服・病気の看護・安全等に関する知識を身につけている。また、乳幼児の離乳食・幼児食づくり、被服製作等に関する技術を身に付けている。 b:子どもに適する食事・衣服等について考え、判断することができ、生活習慣・健康管理について、課題を見出し、考え、判断する態度が見られる。 C 被服製作・調理実習等に興味・関心を持ち、意欲的に取り組もうとしている。	プリント 小テスト 定期テスト	ワーク プリント 定期テスト	ワーク レポート 振り返りシート
3	子どもの福祉	保育にみる児童観 児童福祉の理念と法規・制度	a:保育に見る児童観・児童福祉の理念等に関する知識を身に付けている。 b:児童観を捉えて、児童福祉の理念と法規・制度を理解し、考え、判断する態度が見られる。 c:児童観を捉えて、児童福祉の法律を理解し、積極的に子どもと関わる態度が見られる。	プリント 小テスト 定期テスト	ワーク プリント 定期テスト	ワーク レポート 振り返りシート

	子どもの文化	子どもの文化の意義 子どもの遊び 子どもの表現活動	a:子どもの文化の意義、遊び等に関する知識を身に付けている。また、造形表現活動・造形表現活動の技術を習得している。 b:子どもの年齢に適した遊びを考えることができ、相応したおもちゃを製作することや絵本を選択し読み聞かせができる。 c:子どもの文化の意義を理解し、積極的・意欲的に子どもとかかわる態度が見られる。	プリント 小テスト 定期テスト	ワーク プリント 定期テスト	ワーク レポート 振り返りシート

※　表中の観点について　a:知識・技術　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度